

環境市民ネットワーク天理 会 報

第 39 号 (2022年9月20日発行)



巻 頭 言

NPO法人環境市民ネットワーク天理
理事長 佐藤孝則

国連が2015年9月に全会一致で採択した「SDGs」は、「持続可能な社会の実現」が人類共通の課題であることを私たちに認識させてくれました。これからは、私たちが「地球環境市民」であることをしっかりと自覚し、持続可能で美しい地球環境を次世代へ引き継ぐ責務を負っていることを、自らの行動で示すことが求められる時代になっていくように思います。環境市民としての自覚は、今後いっそう重要になってくるはずです。

2012年4月、天理大学は奈良県下の大学として初めて「エコキャンパス宣言」を公にし、建学の精神に基づくエコキャンパス化を日々努めてきました。そのような天理大学に対し、私たちNPO法人は、寄付講座の「まほろばエコロジー講座」を大学の授業として開講してはどうかと提案させていただき、今年度の秋学期（後期）授業の一つとして開講することが承諾されました。

授業では環境問題に関わる各分野の専門家によるレクチャーを15講受けもらい、所定の成績を修めた学生には修了証を発行するとともに、講座終了後の検定試験で一定の成績を修めた受講生には、加えて「まほろば環境市民」であることを当NPOが認定することとしました。今後は、社会人を対象にした「まほろば環境市民」の認定についても検討していきたいと考えています。

秋から 大学生になりませんか



天理大学の授業を15回受講して検定を受けることで
環境問題やSDGsについて学んだことを証明する資格に
認定します。(認定機関 NPO法人 環境市民ネットワーク天理)

期間：2022年9月21日(水)から2023年1月25日(水)

13:00~14:30

場所：天理大学 杉之内キャンパス(天理市杉之内町1050)

教室未定

費用：科目等履修受講料 30,500円

特典：検定による「まほろば環境市民」資格認定

学生証・メールアドレスの発行

期間中は大学施設が使用できます

(図書館、トレーニング施設等)

部活動にも参加できます

申込み日：2022年9月1日・2日



3. 開講スケジュール (2022年9月21日~2023年1月25日)

1	9/21	オリエンテーション	9	11/30	食料問題
2	9/28	環境問題取り組みの歴史	10	12/7	ゴミ問題・天理市における 市民活動
3	10/5	持続可能な社会への取り組み (1)	11	12/14	行政・企業・市民の役割
4	10/12	持続可能な社会への取り組み (2)	12	12/21	環境教育の意義
5	11/2	地球温暖化と気候変動	13	2023年 1/11	NPO法人環境市民ネット ワーク天理の活動
6	11/9	生物の多様性 (1)	14	1/18	ワークショップ
7	11/16	生物の多様性 (2)	15	1/25	循環型社会に向けて
8	11/23	エネルギー問題	※	1月下旬	検定試験

※コロナ感染症拡大などの事情により、内容や形式が変更になる場合があります。

エコロジー・エコミーの両立と防災を目指したまち
「エコシティ・天理」SDGs構想2022

ステーキ
ホルダー
市民、NPO,NGO,
企業、教育、宗教
多世代人材の活用

防災拠点化

新クリーン
センター

炭素循環

CO₂

①水と緑のネットワーク

未来

ホテル再生

水源の森

街路樹再生

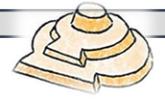
②地域共生
再生可能エネルギー

③SDGsで天理市を
再ブランディング

関空「世界へ発信」

「首都圏へ発信」

名阪国道（現代の幹線道路）



山の辺の道
（古代の幹線道路）

四次産業
バイオマス
廃棄系発電

一次産業
農林業など

天理大学
親里競技場
天理参考館
天理大図書館
トレイルセンター
など

小規模・熱利用型
バイオマス発電

まほろばエコロジー講座
（環境人材の育成）

「山の辺の道・
SDGsエコミュージアム」構想

こころパーク
SDGsの森

三次産業
販売・加工

※海獣葡萄鏡
（過去）

二次産業
加工など

ガストロノミー
エコツアー

緑の回廊

※天理市でも発掘。デザインのブドウは、
丸い心で人々がつながる様子を表している

課題

街路樹のメンテナン

放置林対策

耕作放棄地対策

高齢化・人口減

カーボンニュートラルの達成

詰所など天理教施設の利活用

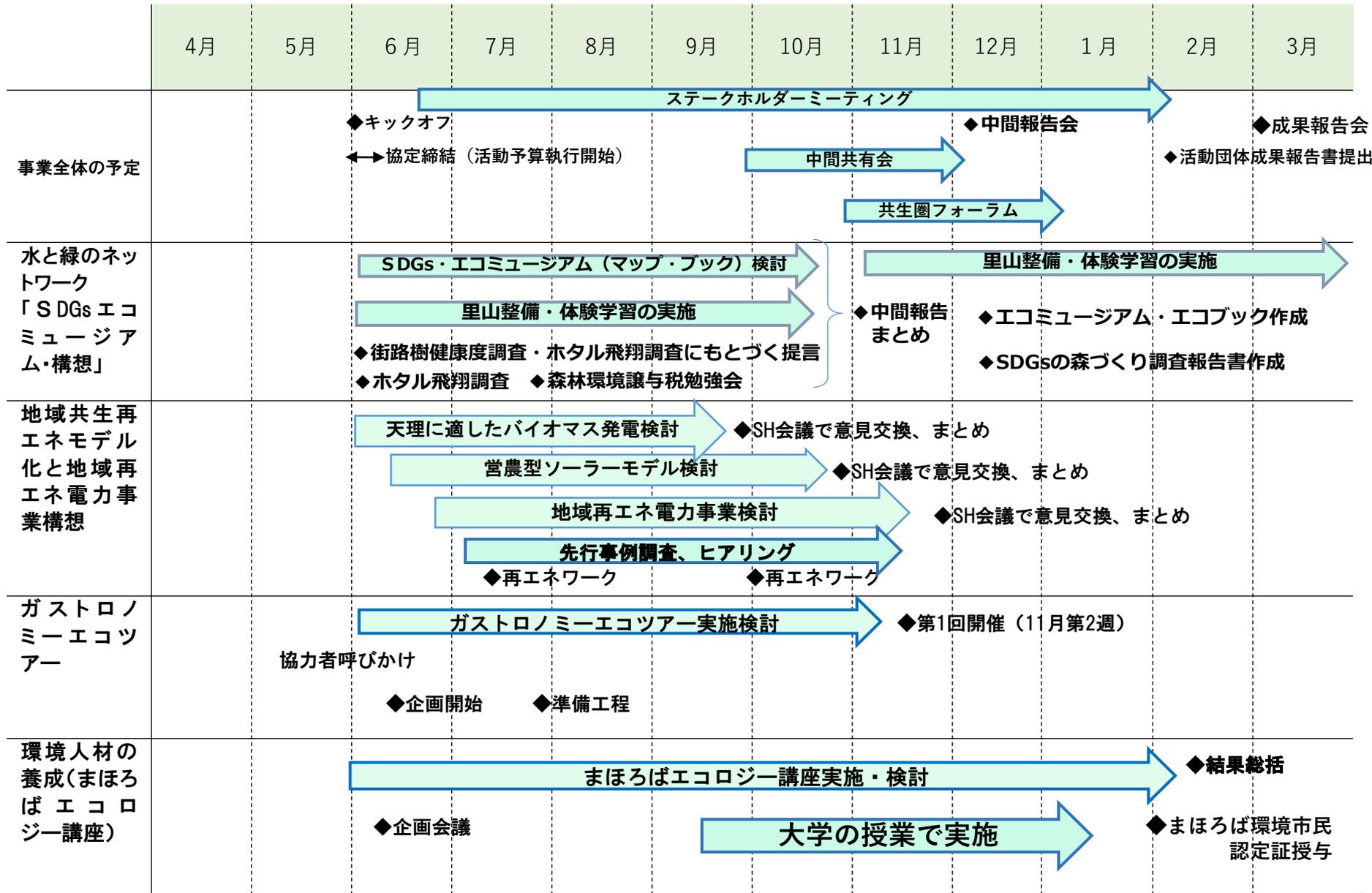
防災（南海トラフ・奈良盆地東縁断層など）

子供たちの自然体験不足

光害とホテル減少



年間スケジュール ※4月段階変更する場合があります



「SDGs・エコミュージアムミーティング」報告 2022年7月24日（日）

山 裕成 氏（奈良県観光局）「Yamanobe projectについて」

経過）2021~2022, 7月4回会議を開催し、ステークホルダーとともに具体的取り組みに移行する。
位置づけ）山の辺の道は、国内はもとより、海外からのツアー客から大変人気の高い。この地域から本物の日本を発信。単なる観光地としてアピールするのではなく、地元住民の生活として交流を考えている。

課題）景観保全（耕作放棄地、竹林・里山整備など）、トレッキングルートとしての利便性が不十分。
キーワード）トレッキング、ウェルネスツーリズム、アドベンチャーツーリズム、国連世界観光機関（UNWTO）と連携、刀根早生柿、三輪素麺、旅ナカ・アト情報、旅を通して自己変革

尾地裕一 氏（新宮エネルギー）「小規模・熱併用利用・バイオマス発電について」

大ガスから独立して、バイオマス事業に参入。

ヨーロッパでは、熱電併用・小規模バイオマス発電が当たり前に普及している。2015年FIT制度により、売電価格40円/KWになったが、発電だけでは採算が合いにくい。また、これまでのバイオマス発電は大規模な施設が多く、バイオマス確保が難しかった。それら問題解決のために、熱電併用小規模バイオマス発電を検討し、機械も発注した。場所については検討中。できたら天理市を考えている。

バイオマスの種類は2つ。一つは、竹も含めた木質バイオマス。もう一つは、生ゴミや廃油などのガス化。さらに、非常用電源、キッチンカー（地元農産物を材料としたピザなど）用電力を供給も検討。

齊藤敏和 氏（Goフォレスト）

人工林の作道、間伐、皆伐、植栽や庭木の伐採をしています。
樹皮や薪販売など、木を身近に感じることができるとの取り組みも構想中。

辻本善郎 氏（ならコープ）

ならコープは2022年度中に、天理東インター付近に新しい事業所開設を予定。再生エネルギー100%を目指し、プラットホーム事業とも連携していきたい。

竹田氏、安岡氏（山の辺の道ファークラブ）

菜の花プロジェクトの紹介と山の辺の道の景観保全活動と諸問題について紹介。



8月20日（土）リバーウォーキング

天理市環境政策課共催

4家族12名の方が参加しました。

当日は曇りの天気でしたが、数日前からゲリラ豪雨が続き、やや水量が多く、少し濁りがあり、生物がいるかどうか心配しました。しかし、エビや小魚が川べりの草の根元に集まり、網を入れるとたくさん採ることが出来ました。

採集生物

水質階級2（カワニナ、ハグロトンボ、コヤマトンボ、スジエビ、ヌマエビ、カワムツ、オイカワなど）水質階級3（コシボソヤンマ）その他（ヨシノボリ、ドンコ）



布留川・天理教前

8月28日（日）里山体験ブルーベリー摘み

天理市環境連絡協議会共催

大人19名と子供5名、合計24名（スタッフ含む）が参加しました。（8月25日、大人4人、子供1名）

当日は曇り空でしたが、標高500m近い高原で、丁度良いコンディションでした。

生態系豊かな里山に囲まれた環境で、無農薬で育てられた美味しいブルーベリーを試食しながら、全体で約10キロを収穫できました。

しかしこの数年、この場所でも日本ミツバチがほぼいなくなり、受粉が心配されています。これは、全国的な傾向で、海外の多くの国々で禁止されているネオニコチノイド系農薬の影響と考えられています。



どんぐり文化と里山

長谷川 正
元天理教造園課総括

京都で生まれ、天理に住んで50余年、天理教の造園を担当してこの地域の植生を知ろうと、奈良盆地の東方を中心に歩き、気がついたことがある。スギ、ヒノキの人工林に混じりクヌギ、アベマキ、コナラ等の雑木林が点在していた。

近年までこの様な雑木林は薪炭林ともいわれ、燃料として、又染物にも使われていた。現在でもシイタケ栽培の楯木として使われ、古く、弥生時代には、同じオークの仲間のアラカシ、シラカシの実（どんぐり）らといっしょにその実を粉にして灰汁を抜き食していたといわれ、人間の生活と深く関わってきた。

そういえば、春・秋両季節に発芽する「ヤマト55号」というシイタケ菌が、奈良盆地東部の山間地で開発されたと聞いた事がある。そんな樹木との関わりを再確認しようと、天理大学研究棟や、参考館に大きなアベマキやクヌギを移植配置している。この様な樹木は伐採した後、根もとから芽が出て再生する（萌芽更新）。化石燃料を大量に使い地球温暖化といわれる今日、先人達が活用した里山から多くを学びたいものです。



天理参考館前のアベマキ



アベマキ



クヌギ



コナラ

「NPO法人環境市民ネットワーク天理」入会のご案内

NPO法人環境市民ネットワーク天理では、入会して活動を支えていただける方を募集しています。問い合わせは、下記事務局までお願いいたします。

事務局 〒632-0034 天理市丹波市町451番地

事務局長 中畷 欣成 電話：090-3487-9446

【年会費】1口1000円（個人は1口以上。団体は3口以上。）

ただし、大学生以下、生徒、児童は無料です)

【会費振込先】

郵便為替00990-5-117162 法人環境市民ネットワーク天理

南都銀行 天理支店 普通口座 1081868 環境市民ネットワーク天理

活動記録

- 2022年 5/21 環境市民ネットワーク天理・総会（かがやきプラザ）
5/31 理事会（井戸太）
6/14 理事会（井戸太）
7/24 SDGsエコミュージアム構想ミーティング
8/ 2 理事会（井戸太）
8/20 リバーウォッチング（布留川・天理教前、天理市環境政策課共催）
8/28 里山体験ブルーベリー狩り（上仁興町・笠荒神付近の里山）

発行者 NPO法人環境市民ネットワーク天理（理事長 佐藤 孝則）
事務局 〒632-0034 天理市丹波市町451番地
事務局長 中畷 欣成 電話：090-3487-9446